

RE:WorkLab2025プロジェクト

～AI時代、みんなで考える未来の「ハタラク」～



日経BP

AIが人の仕事を効率化・省人化した後に人がすべき仕事は？

ChatGPTに聞きました！

1. 創造性・共感性が求められる仕事

AIには難しい、人間ならではの感性や感情に根ざした仕事です。

2. 人間との対話・関係構築が中心の仕事

AIは情報処理に長けていますが、人間関係や感情の機微を完全に理解することは難しいです。

3. AI・テクノロジーを使いこなす仕事

AIは道具に過ぎず、それを使う人間が必要です。

4. 問題発見と本質的な問いを立てる仕事

AIは与えられた問題を解くのは得意ですが、「何が問題か」を定義するのは不得意です。

5. 人間らしい体験を提供する仕事

人間の存在そのものが価値となる領域です。

6. AIと共に働く力そのもの

そして重要なのは、「AIと共に働くスキル」を身につけることです。

急速なAI技術の発展により、私たちの働き方は大きな転換点を迎えています。

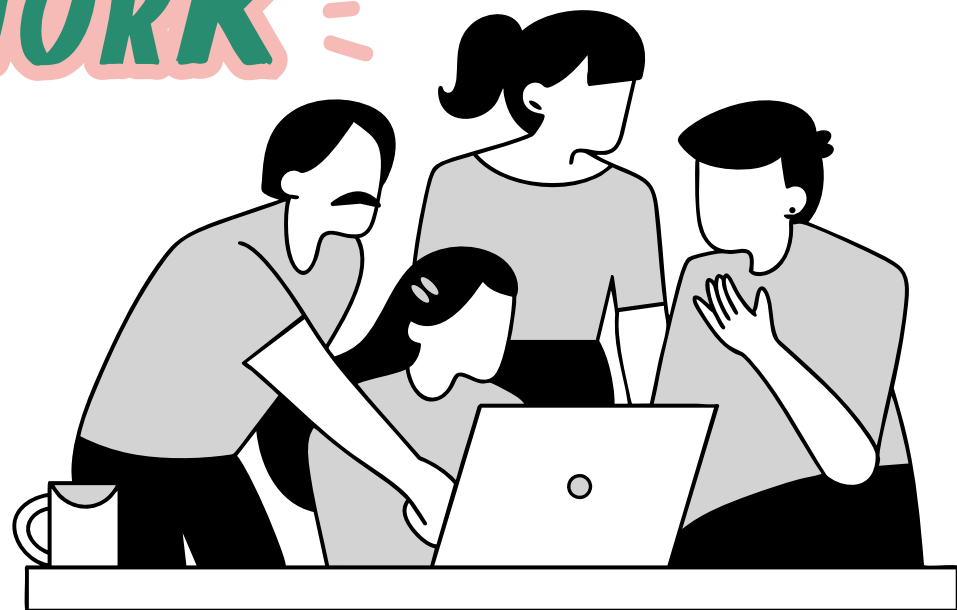
**生成AIの登場はビジネスプロセスの効率化をもたらす一方で、
雇用の不安や人間の役割の再定義という課題も投げかけています。**

**テレワークの定着やオフィスの概念変化、サテライトオフィスや
コワーキングスペースの台頭など、働く「場所」の自由度が高まる中、
物理的な制約から解放された新しい働き方のあり方が模索されています。**

**さらに、デジタルトランスフォーメーションの加速など、コロナ禍を経て働き方の多様化が進む今、
これからの「働く」とは何かを根本から問い直す時期に来ているのではないのでしょうか。**

**「RE:Workプロジェクト」は、AIと人間が共存する未来の働き方を、企業、専門家、
働く当事者がともに考え、新しい可能性を探る新しいプロジェクトです。**

**最新のAI技術動向から、組織変革、働く場所の選択肢、スキル再定義、ウェルビーイングまで、総合
的に議論をすることで、変化を恐れるのではなく、変化を活かす未来の働き方を提言します。**

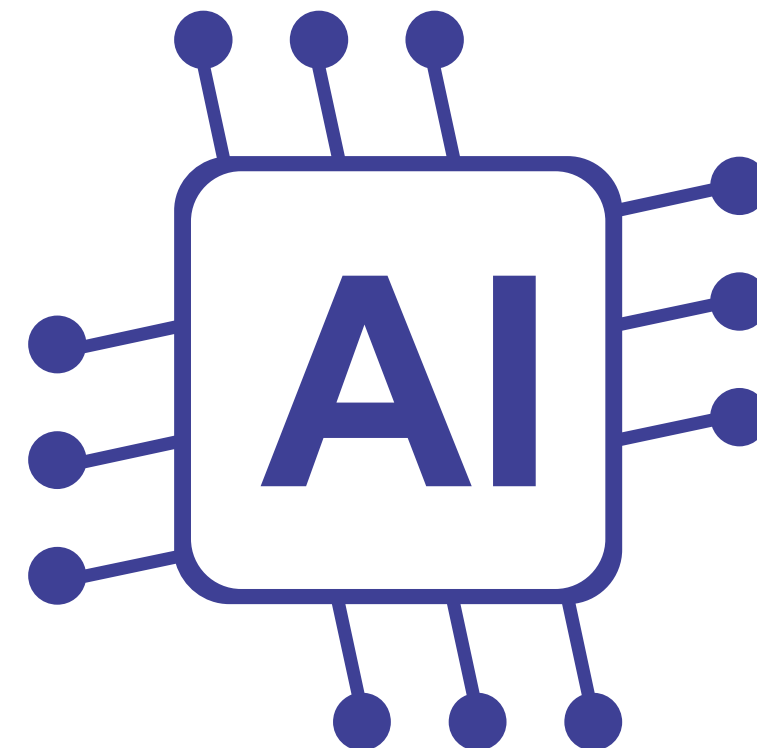
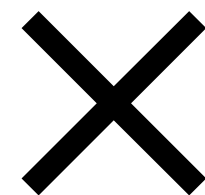
≡ **WORK** ≡

働き手の変化

- ・ 少子高齢化と労働力不足の顕在化・深刻化、夫婦共働きの一般化、共働き世帯数の増加、シニア人材の増加、障がい者雇用促進法、人的資本経営に関する情報開示

働き方の変化

- ・ 在宅ワークの一般化、オフィスに求められる要件の変化（フリーアドレス化、対話促進スペースの設置、オンライン会議への設備対応など）、勤務地や居住地の自由化、（日本型）ジョブ型人事制度の普及



技術的進化

- ・ AIによる仕事の効率化・省人化
- ・ Teams/ZoomやSlackなどのオンライン会議やリモートワークにおけるコラボレーションを支えるグループウェアなどのITツールの進化・高度化
 - ・ クラウドの普及
- ・ 通信環境やPC、モバイル端末の高度化
 - ・ オフィスやオフィス什器の高度化

正解の見えない現代だから…

様々なステークホルダーとの議論から
「未来のハタラク」ビジョンを示す

01



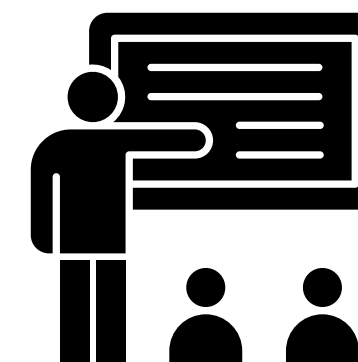
共感
(聞く)

02



議論
(会話する)

03



訴求
(伝える)

RE:Work
Re:serch

ゴールド
パートナー

- リード提供 (想定200件)
- 調査型タイアップ (コメント掲載)

イベント
パートナー

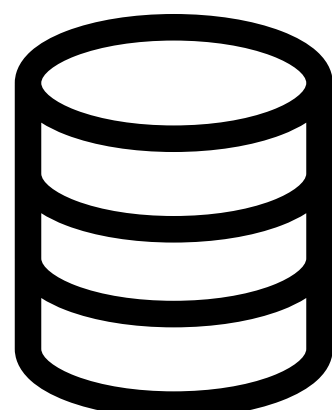
RE:WorkLab
Summit

- パネルディスカッション参加

- 30分プレゼン
- リード提供 (想定400～600件)
- レビュー掲載

RE:Work Re:serch

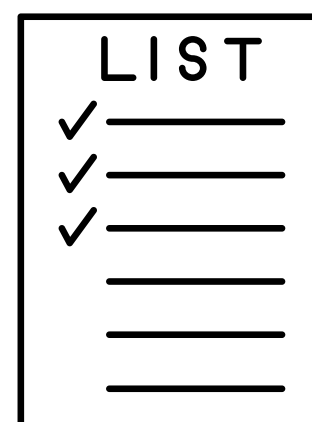
- ・ 働き方の悩み、職場の課題をアンケート投稿
（AI時代のリアルな声）



日経ID



回答者のリード提供



- ・ 「RE:Work Re:serch」をローンチして、ユーザー企業の悩みや課題をアンケート調査として集い、分析を基にして未来の「ハタラク」を共同で考えていく枠組み

（日経クロステックActive）

- ・ アンケート結果に応じて

RE:WorkSummit2025の登壇内容を決定

- ・ 読者との双方向でのコミュニケーションツールとして活用

- ・ 回答者データをパートナー企業にリード納品

- ・ アンケート取得期間2ヵ月程度で実施予定
（提供リード数：200件想定）

- ・ アンケート詳細、調査タイアップは次項参照



共通項目

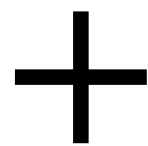
Q1現在の働き方は、創造的な業務に集中できる環境だと感じますか？

Q2AIやデジタルツールは、あなたの業務の生産性を高めていると感じますか？

Q3あなたの職場では、新しい働き方への変化に対して柔軟に対応できていますか？

Q4理想的な働き方に向けて、組織としての取り組みは十分だと感じますか？

Q5あなたが「創造的な仕事」と感じる業務は、どのようなものですか？



各社の関心事に合わせて以下より1テーマ選択可能

人的資本

時間配分の実態を把握,リスクリング状況の確認,教育・研修制度の有無,心理的安全性の観点,組織文化の現状把握

オフィス

空間デザインの評価,ハイブリッド勤務の実態,イノベーションの土壌,ハード面の充実度,働き方の柔軟性

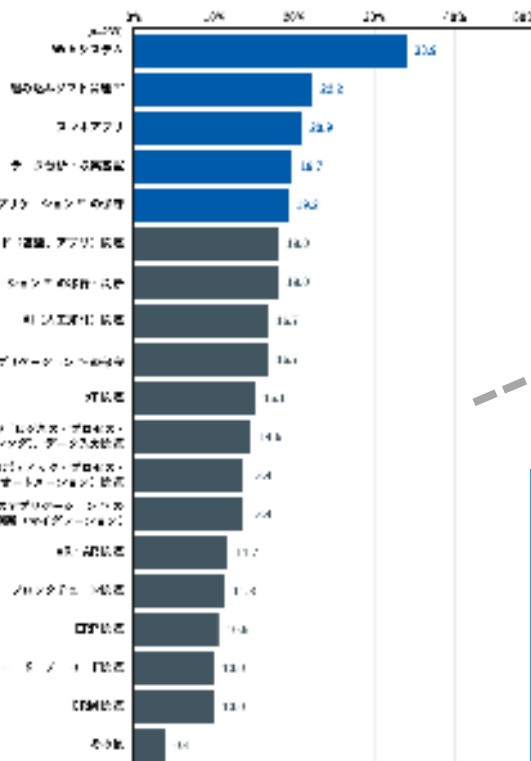
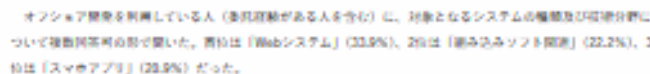
ワークツール

ツールの有効性,実装度合いの確認,ITリテラシー支援,システムのUX観点,ボトムアップの文化

03-1 調査タイアップ（案）



働き方の変革を急ぐ企業が続々、2025年はその転機になる



② 目上に「 $\frac{1}{2}$ 」を代入すると、目上が「 $\frac{1}{2}$ 」であることが示される。

オフショア開発を委託したことがある情報システムの分野・技術
(土曜：日経BP 総合研究所 イノベーションICTラボ)

今後の発注を検討している職種や技術分野についても尋ねたところ、首位は「Webシステム」(33.8%)、2位は「AI(人工知能)関連」(24.5%)と「データ分析・画像処理」、組み込みソフト関連の3つが並んだ。

調査タイアップ掲載イメージ

総論

- RE:WorkRe:serchで実施したアンケート内容をもとに、総論ページを作成

各社コメント



デジタル活用の勘所を探る

新型コロナウイルスの世界的な危機により、
人々の生活や暮らし、社会の在り方、企業活動などの前提が変わりつつあります。
安心、安全、便利、快速、事業継続、成長、発展——。
これらの願いをかなえるには、デジタル活用が欠かせません。
本サイトではデジタル技術の最新動向、導入事例、注意点を示すとともに、
デジタル活用の助所を探ります。
どうぞご期待ください。

日経BP 総合研究所 イノベーションICTラボ 所長
大和田尚孝

- ・調査結果をもとに、各分野における第1人者として、調査データをもとにした一言コメント＋写真の掲載（囲み）

※上記イメージ

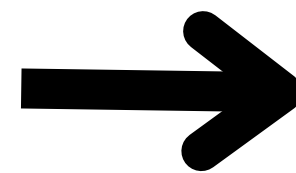
03-2 議論（会話する）

RE:Work
Re:serch

・課題の抽出

働くことに関する課題や現状の意識調査
働く場所、働く時間、働き方

実施時期：8月～9月想定



RE:WorkLab
Summit

・イベントでのパネルディスカッション

読者の持つ働くことの課題をもとに、
パートナー企業・有識者による特別パネルディスカッション

実施時期：11月リアル開催想定

※12月オンデマンド配信予定



2024年実施例

RE:WorkLabプロジェクトを通じた貴社サービスの訴求

イベントでの訴求

- 30分の自社プレゼン枠、ユーザー課題に対しての貴社ソリューションを講演
- リアルイベントでの展示ブース

※11月にリアル開催した録画内容を12月にオンデマンド配信予定



特設サイトでの訴求

- RE:WorkLab特設内にイベント講演内容のレビューを掲載
- オリジナルタイアップで貴社サービスを訴求（オプション）



01

先進事例企業

主催者

未来の働き方を象徴する先進業の講演、創造性をもって仕事をしていく上でのヒントを考えていきます。

02

パネルディスカッション

主催者／パートナー

RE:WorkRe:serchによって明らかになっていくそれぞれの悩みや課題感をもとに、議論を行い皆で考える場を作ります。

03

パートナー講演

パートナー

各社のテーマ毎に30分のソリューション講演を行えます。

04

展示

パートナー

各社のソリューションを簡易展示を行って、来場者が体験できる場を作ります。

イベントスケジュール（案）

AM

主催者講演

パートナー講演

12:00 - 13:00

休憩

PM①

パネルディスカッション

パートナー講演

PM②

主催者講演

2025
8月2025
9月2025
10月2025
11月2025
12月

**RE:Work
Re:serch**
アンケート

アンケート実施

調査型タイアップとして
特設サイトに掲載

**RE:WorkLab
Summit**
イベント

リアル
開催オンライン
開催リアル開催の録画データ
をオンデマンド配信レビュー
掲載

特設サイト

掲載中

05

協賛メニュー

プラン名	スポンサー料金	アンケート リード獲得	特設サイト タイアップ	RE:Work LabSummit2025※1				
		リード 提供	調査 タイアップ	パネルディスカッション		自社プレゼン		
				参加	総論レビュー	講演	講演レビュー	リード 提供
ゴールド パートナー	¥5,000,000	○	○ 調査記事へのタイアップ 出演	○	○ ミーティング全体の内容をオリジナルコンテンツとして特設サイトに掲載※各社様個別の記事ではありません	○	○ 日経ビジネス電子版・日経クロステック 特設サイト	○
イベント パートナー	¥3,000,000	—	—	—	—	○	○ 日経ビジネス電子版・日経クロステック 特設サイト	○

※1 メニュー詳細 11月：リアル開催、12月：オンデマンド配信

■講演（30分・パネルディスカッション）※複数社登壇予定■受講登録者リスト：全登録者リストご提供（想定提供数 400～600件）、■配信サイト上での貴社ロゴ掲出、■貴社講演資料等のダウンロード（任意、1点まで）、■個別アンケートの実施（任意）

視聴レポートについて：ご提供するリードにはセミナー申込日情報および、視聴トラック履歴、自社セッションで実施したアンケートの回答が含まれますが、セッション毎の個別視聴履歴のご提供はございません。リストに貴社講演の視聴フラグを追加ご希望場合は、オプション料金5万円（税別）となります。お申込み時に併せてご指定ください。

<お問い合わせ>
日経BP アカウントビジネス3部・4部
e-mail：c-ad@nikkeibp.co.jp

THANK YOU

最後までご覧いただき、ありがとうございました。

